

将来のごみ処理を考えよう!!

米子市淀江町西原1129番地1
鳥取県西部広域行政管理組合
事務局 ごみ処理施設整備課



新たなごみ処理施設のイメージ

こんな施設を目指します!

鳥取県西部広域行政管理組合では、令和14年度を目標に、西部圏域のごみ処理施設（可燃ごみ処理施設、不燃ごみ処理施設、最終処分場）を集約し、1箇所での整備を目指しています。

鳥取県内のごみ処理の広域化・施設の集約化の状況



【東部圏域】

令和4年度に完成する可燃ごみ処理施設の稼働をもって、広域化・集約化が完了

【中部圏域】

平成8年度に広域化・集約化が完了

県内他圏域
は広域化・
集約化完了



ポイント1

圏域人口・ごみ量の急激な減少

- 平成30年度(現状) → 約23.5万人
- 令和14年度(施設稼働目標年度) → 約21.9万人 (1.6万人、7.1%減少)
- 令和20年度(稼働後7年目) → 約21万人 (2.5万人、10.8%減少)
- ごみ量も人口と連動して減少する見込み

市町村単独又は一部自治体での共同処理には限界があります。

→ ごみ処理広域化の推進

年度	平成30年度		令和14年度		令和20年度	
	市町村	人口(人)	人口(人)	対H30増減率	人口(人)	対H30増減率
米子市	148,498	145,489	△ 2.0%	142,534	△ 4.0%	
境港市	34,247	30,246	△ 11.7%	28,482	△ 16.8%	
日吉津村	3,614	3,698	2.3%	3,691	2.1%	
大山町	16,399	13,451	△ 18.0%	12,185	△ 25.7%	
南部町	10,937	9,135	△ 16.5%	8,365	△ 23.5%	
伯耆町	10,987	9,332	△ 15.1%	8,612	△ 21.6%	
日南町	4,655	3,168	△ 31.9%	2,690	△ 42.2%	
日野町	3,111	2,053	△ 34.0%	1,692	△ 45.6%	
江府町	2,948	2,068	△ 29.9%	1,759	△ 40.3%	
人口計	235,396	218,640	△ 7.1%	210,010	△ 10.8%	
ごみ総量(目標)	93,867t	84,549t	△9.9%	80,711t	△14.0%	

広域処理の推進

持続可能な適正処理

気候変動対策の推進

災害対策の強化

新たな地域価値の創出

地域との連携強化

近年のごみ処理技術の進歩により、市街地や市街地近郊での整備事例が増加しています！

ポイント2

ごみ処理コストの削減

- 可燃ごみの1施設集約処理は、現状体制での処理と比較し、20年間で約60億円(約12%)のコスト削減が可能

ポイント3

温室効果ガス(二酸化炭素)の削減

- 可燃ごみの1施設集約処理は、現状体制での処理と比較し、年間約2千t(約14%)の二酸化炭素排出削減が可能

→ 20年間に必要なコスト

項目	ケース		②-①
	現状体制での処理 ①	1施設集約処理 ②	
収集運搬費	74億4千万円	78億3千万円	
施設整備費	256億3千万円	232億4千万円	
維持管理費	191億5千万円	151億4千万円	
計	522億2千万円	462億1千万円	△60億1千万円

ごみ処理施設の集約化が有効



最新のごみ処理施設の設置例

市役所や空港、オリンピック選手村に隣接した施設、クローズド型最終処分場の設置例を紹介します。

武蔵野クリーンセンター



東京二十三区清掃一部事務組合 中央清掃工場



豊中市伊丹市クリーンランド



呉市一般廃棄物最終処分場

